

令和7年度沖縄県キャリアセンターにおけるミドル世代支援の実施状況

1. 実施概要:

社会参加活躍支援等孤独・孤立推進交付金(内閣府)を活用し、沖縄県キャリアセンターに専門相談員を配置し、ミドル世代(35～59歳)向けの就職相談やセミナー等を実施。

2. 重要業績評価指標(KPI)実績

KPI①沖縄県キャリアセンターにおけるミドル世代のセミナー参加者数

令和7年度目標値 780 人、令和7年度実績値 1,530 人

【説明】昨年度に引き続き、前半:セミナー/後半:個別相談形式の特別セミナーを行い参加者数が増加した。

KPI②沖縄県キャリアセンターにおけるミドル世代の相談者数

令和7年度目標値 390 人、令和7年度実績値 727 人

【説明】キャリアセンター内において土曜日に就職相談会を実施し、またミドル世代のキャリアセンターの利用の増加や、対象年齢の幅が広がったことで、相談件数が増加した。

KPI③沖縄県キャリアセンターを通じたミドル世代の就職者数

令和7年度目標値 55 人、令和7年度実績値 94 人

【説明】キャリアセンターの利用者の増加に伴い、調査対象者数が増加し、結果的に就職者の増加に繋がった。

3. 本事業による就業者数

令和7年度、本事業による就業者数は 94 人。

※雇用形態別内訳:

正規雇用 25 人、非正規雇用 35 人、雇用形態不明 34 人

4. 事業の総括

〈実施状況・成果〉

- ・ミドル世代向け相談窓口の周知を行うため、SNS での広報、チラシの作成配布 20,000 枚、LINE 広告、Instagram 広告、ラジオ CM を通じて情報発信を実施した。
- ・相談目標 390 人に対し 727 人、就職目標 55 人に対し 94 人、セミナー参加目標 780 人に対し 1530 人となった。

〈コメント・今後の展望〉

セミナーについては、セミナーの内容と個別相談を関連させた展開が需要を高められた一因であると考え。セミナー中盤に個別相談を入れ、その後にワークや説明を追加するなど、個別相談がより効果的に活用できるように工夫するなどし、ほとんどが定員での開催となったことで前年度に引き続き集客力アップに成功した。

また、ハローワークの開所に合わせた、第二・第四土曜日に就職相談会を開催したことや、ミドル世代の利用が多い時期にパソコンコーナーの利用時間を延長するなどして、臨機応変に対応したことがミドル世代全体の利用者増につながったと思われる。

昨年度に比して、ミドル世代という形で 35 歳から 59 歳までと支援枠を広げたことで、求められる支援が多様化しており、求職者の今後を見据えたキャリア支援と定着支援への取り組みを強化していきたい。

5. その他(中高年世代活躍応援プロジェクトおきなわ協議会について)

- ・沖縄県域における支援プラン及びこれに基づく効果的な支援策のとりまとめ、各種施策の進捗状況を統括することを目的として、沖縄労働局、沖縄県をはじめとする関係行政機関、経済団体、労働団体、支援機関等から構成される「中高年世代活躍応援プロジェクトおきなわ協議会」を設置している。
- ・令和7年度は、令和7年7月23日に対面で、令和8年2月に書面で開催し、各機関が実施する事業の進捗状況確認や意見交換を行い、引き続き関係機関が連携して取り組んでいくことを確認している。